

令和 7 年度実施事業 について 資料④

【アクションプランの体系】

基本方針	具体的な手法	シート 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1：プロモーション強化	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化	国内	◎		○	○		○	○	○	○	○	○	
		海外	○			◎	○							
	②観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用	国内	○	◎				○	○	○	○		○	
	③多様な主体との連携強化	国内			◎			○	○	○	○	○	○	
		海外					◎							
2：観光コンテンツの充実	①だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化			○	○	○		◎						○
	②豊富な特産品を活かした「食」観光の推進			○	○	○			◎					
	③豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信			○	○	○	○	○		◎				○
	④観光コンテンツの周遊促進の強化			○	○	○			○		◎			
3：受入体制の整備・充実	①市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成						○	○		○	○	◎	○	○
	②生活にも配慮した観光地としての基盤整備	○											◎	
	③歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座							○		○		○		◎

基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化【国内】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内②海外① 基本方針3-②

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 市内外の方に本市の観光資源を知ってもらうため、基本的な発信の強化が必要。あわせて、SNS等も活用した効果的な発信が必要。	(1)「岸ぶら」の掲載情報の充実化 (2)本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS等の活用 【事業概要】 (1)岸ぶらの長所であり、岸ぶらでしかできない、“岸和田のコア情報発信”を活かした情報発信を行い、「旅ナカ」利用を促進する。また、過去の情報資産のブラッシュアップ、整理を行う。 (2)本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS等を積極的に活用した情報発信、SNSと連動したプロモーションを実施する。 市SNS：インスタ→5,884人 X→4,252人 Facebook→3,721人 LINE→46,856人 (R7.6.9時点) 協会インスタ：2,721人 (R7.6.17時点) 岸ぶらX：7,168人 (R7.6.17時点) 【めざす成果】 (1)トレンドを突いた記事の掲載や、「旅ナカ」観光客への情報提供によるインプレッションの増加から、「岸和田のコアな情報」へつなげることで、今後の新たな観光コンテンツの造成に向けた土台形成のためのニーズ把握を目指す。 (2)SNSを積極的に活用した情報発信、SNSと連動したプロモーションを実施することで、SNSフォロワーの増加、閲覧数の増を目指す。 【数値目標】 (1)ブロガー新規投稿数：300、1日平均セッション数：1,500 来訪者の岸ぶら閲覧率：12% (R5年度調査：9.6%)
C：取組みの進捗（R7.6.18現在）	
(1) Googleマップとの連動を検討 (2) イベント等の情報発信	
D：今後の予定	
(1) Googleマイマップを活用 (2) 随時情報発信	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	②観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用【国内】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針2-①②③④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 周遊イベントによる本市の認知度向上や、動画配信やマス媒体を活用した広域の発信が必要である。	(1) 各事業のプレス発信 (2) 大阪市内など発地によるプロモーション (3) 交通機関等のプロモーション事業へ参画 【事業概要】 (1) 今年度実施する事業に関して、発信内容とターゲットを精査し、効果的なプレス発信によるマス媒体を積極的に活用。 (2) 大阪市内のホテルや鉄道会社に対して、広報物の配架の協力依頼を実施。 (3) 電鉄や空港等での広告媒体を活用。 【めざす成果】 (1) (2) (3) 実施事業の周知による、参加者等の増加を目指す。また、広域的な周知により本市が観光地ではないという印象の払しょくや、観光地としてのイメージアップ等認知度向上を目指し、次年度以降継続する事業等へ繋げる。
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 随時実施 (2) 大阪産(もん)マルシェ Link to EXPO 2025ヘチラシ配架依頼（5/24. 25） (3) 関空島内事業者へ情報発信依頼	
D：今後の予定	
(1) (2) (3) 随時情報発信	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	③多様な主体との連携強化【国内】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内① 基本方針2-①②③④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 旅行事業者に旅行商品化を働きかけるため、魅力的な発信が必要。あわせて、情報番組等も活用した効果的な発信が必要。	(1) ロケ誘致の推進 (2) ツーリズムEXPOでのプロモーション (3) 大阪DCキャンペーンへの参画 (4) 万博ポータルサイトの活用 (5) サステナブルフードコートの出展 【事業概要】 (1) 情報番組や映画等の撮影の対応・誘致 (2) 世界の観光・ツーリズムをリードする総合観光イベントとして、国内で行われる、最大規模の総合観光イベントにてプロモーションを実施。 (3) 大阪府内の自治体と観光事業者、JRグループ6社や旅行会社が一体となって行う大型観光キャンペーンに参画し、本市の観光コンテンツを販売する。 (4) ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」にて、既存の体験型観光コンテンツ含め商品を掲載し、誘客促進を図る。 (5) 万博会場内サステナブルフードコートにて、R6年度スイーツコンテストグランプリ事業者による物販出展。 【めざす成果】 (1) 広く本市の観光情報を発信し、ロケ候補地としての認知度向上を目指す。 (2) (3) (4) (5) 「大阪・岸和田」の魅力はもとより、様々なコンテンツを紹介し、商品造成・誘客促進に結びつけ、より一層の消費拡大を図る。 【数値目標】 (1) 制作会社等へ働きかけによる成約数：1件 (3) 催行数：10件 (4) コンテンツ販売数：3件
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 他自治体への視察（柏原市）、情報収集 (2) 内容等調整 (3) だんじり小屋巡りウォークなど実施 市町村等合同説明会参加 (4) 既存の5商品の掲載申請 (5) 6/2、3、5出展済	
D：今後の予定	
(1) 制作会社へ働きかけ (2) Aichi Sky Expoでのプロモーション、観光素材の整理 (3) アフターDCに向けたコンテンツのブラッシュアップ (4) 進捗確認	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し

基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化【海外】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内① 基本方針2-①②③④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③・④に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 海外向けに本市の認知度を向上させるためには、様々な手法による情報発信が必要。	(1)南海電鉄なんば駅2階中央口スペースでのPRブース設置 【事業概要】 (1)大阪関西万博で盛り上がる大阪市内の主要駅である南海電鉄なんば駅において、PRブースを設置し、本市の観光コンテンツのPRを行い、本市への観光の動機に繋げる。また、インバウンド観光客への対応として通訳案内業務を委託する。 【めざす成果】 (1)大阪関西万博で盛り上がる大阪市内の主要駅であり、本市及び関西空港への始発駅である南海電鉄なんば駅において、本市の認知度及び周遊性の向上につながる効果的なプロモーションを実施し、本市の認知度向上による誘客促進を目指す。
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 南海電鉄株式会社と調整中	
D：今後の予定	
(1) 令和7年8月30日(土)にブース設置予定	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	1：プロモーション強化
具体的な手法	③多様な主体との連携強化【海外】
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-海外① 基本方針2-③ 基本方針3-①

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・②・③・④に記載のとおり、観光地としての認知度、観光情報及び観光情報発信、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 本市の認知度を向上させるためには、本市だけでなく、産学官の関係機関との連携を図り、多様な情報発信手法の構築が必要。	(1)「データマーケティング推進事業」及び「販売促進プロモーション」 (2) 大阪・関西万博に向けたデジタルプロモーション 【事業概要】 (1) 大阪観光局が運営するデータマネジメントプラットフォーム(DMP)を活用し、同局と協働しながら本市のプロモーションや昨年度造成したインバウンド富裕層向け体験コンテンツを即時予約できるようブラッシュアップし、海外OTAへの商品掲載を行う。(和装・甲冑での岸和田散策、日本料理と岸和田の歴史・伝統に触れる体験ツアー) (2) 万博期間中に(1)で造成した商品に関する記事を海外で人気の高いSNS(インスタグラム・Facebook)で広告を配信する。位置情報により、関西に訪訪している外国人をターゲットとして広告アプローチを行う。 【めざす成果】 (1)海外OTAへの商品掲載を行い、プロモーションの実施及び体験コンテンツの販売を通して、本市の認知度向上及び来訪後のリピーター化及び消費額の増加を目指す。 (2)万博を目的に訪訪している外国人に向けてアプローチを行うことで認知度の向上を目指す。 【数値目標】 (1)商品販売数:5
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 即時予約対応のため調整中 (2) 業務の仕様について調整中	
D：今後の予定	
(1) 海外OTAへ商品掲載 (2) 広告の配信	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	①だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③、基本方針2-③、基本方針3-①③

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題④・⑤に記載のとおり、観光コンテンツの開発と魅力の発信、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけが不足している。 だんじり会館を拠点として、だんじり祭当日だけでなく、1年を通してだんじり文化を体感・体験できるコンテンツの開発が必要。	(1) きしわだ地車小屋巡りウォーク (2) だんじり会館企画提案事業 【事業概要】 (1) だんじり祭を前に、主に市外の観光客を対象とした各町のだんじり小屋や観光施設を巡るイベントを開催 (2) だんじり会館の指定管理者による、だんじり祭を広く紹介するような事業の実施。 【めざす成果】 (1) (2) 市外に対しても積極的に情報発信を行い、だんじり祭当日以外でだんじりに触れ合う機会を提供することで、本市の認知度向上、誘客促進及び来訪後のリピーター化を目指す。 【数値目標】 (1) 10人×7コースの70人
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 実施内容等を調整中 (2) 紙屋町旧だんじり天日干し移動事業（5/4）	
D：今後の予定	
(1) 事業実施に向けての募集等 (2) だんじり関連の講座や展示を実施予定	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	②豊富な特産品を活かした「食」観光の推進
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③ 基本方針2-④

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・④・⑤に記載のとおり、観光地としての認知度、観光コンテンツの開発と魅力の発信、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけが不足している。 「食」は観光の大きな目的であるものの、本市の豊富な特産品活かしたコンテンツやメニューが十分とは言えないため、新たな「食」観光の推進が必要。	(1) 桃を活用した日帰りバスツアー造成及び催行業務 (2) 大阪泉州牡蠣フェスin岸和田 【事業概要】 (1) 令和6年度に実施した大阪市内及び京阪神を起点とした、岸和田産の果樹を中心としたバスツアーを継続実施。ブランド化を目指し桃のツアーにフォーカスを当てる。 (2) 泉州地域の牡蠣をブランド化し、観光客誘致並びに地産地消の推進を目的とし牡蠣フェスを開催。 【めざす成果】 (1) (2) 岸和田市の食の認知度を向上させるとともに誘客促進を図り、観光地ではないという印象の払しょくや、観光地としてのイメージアップを目指す。 また、将来的には本市の「食」コンテンツの認知度を高めることで、旅行会社による商品造成の組込みを目指し、「食」の通年観光を図る。 【数値目標】 (1) 設定数：3 催行数：2 参加者数：60名 満足度：85% 再訪意欲：85% (2) 満足度：85%（KIX取りまとめより、R6年度81.2%）
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 6/22、7/13催行決定、7/11募集中 (2) 実施日等を検討	
D：今後の予定	
(2) 実施日に向けた調整	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	③豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③ 基本方針3-①③

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題①・③・④に記載のとおり、観光地としての認知度、ターゲットに応じた観光戦略、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 岸和田城や城下町等の豊富な歴史資源を活用し、岸和田だからこそできる体験型コンテンツの開発とその情報発信が必要。	(1) 岸和田城・二の丸広場観光交流センター企画提案事業 (2) 全日本忍者手裏剣打選手権大会の実施 【事業概要】 (1) 指定管理者による、岸和田市の歴史文化を活用した事業の実施。 (2) 全日本手裏剣打選手権大会を開催し、伊賀、甲賀につぐ忍者ゆかりの地岸和田として全国にPRする。 【めざす成果】 (1) 岸和田城(天守閣・八陣の庭)の認知度向上、リピーター化や、岸和田城に隣接する、国・市有形文化財の認知度向上により、インバウンド含む訪問客増、滞在時間増、消費額増を目指す。 (2) 「大阪・岸和田」の魅力はもとより、様々なコンテンツを紹介し、商品造成・誘客促進に結びつけ、より一層の消費拡大を図る。 【数値目標】 (1) 岸和田城入城者数：50,000人/年
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 指定管理者より事業計画書を受領 岸和田のお米で作るお菓子、名産物産（4/5, 4/6） 江戸時代の天守・伏見櫓等の再現図パネル展示（5/5） (2) 実施に向けて調整中	
D：今後の予定	
(1) 犬走り講座や御城印帳づくりWS等、市の歴史文化を活用した事業の実施 (2) 実施日の確定・内容について協議	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	2：観光コンテンツの充実
具体的な手法	④観光コンテンツの周遊促進の強化
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③ 基本方針3-①

A：現状と課題（計画より） 観光創造ビジョン・岸和田の課題①・④に記載のとおり、観光地としての認知度、観光コンテンツの開発と魅力の発信が不足している。 本市は豊富な歴史資源が海から山まで点在しているが、二次交通が不足しており、周遊がされていない現状にある。 点在している観光地を繋ぐ面的な観光の実現が必要。	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など） (1)ライドア라운드 in 岸和田 2025 ～岸和田 CYCLE EXPO ～ 【事業概要】 (1) 市内の歴史・文化施設や景観、飲食店など最大100スポットを設定し、期間中に専用アプリを用いて自転車で街を巡り、スポットを訪れたり、グルメを楽しむことでポイントを獲得するイベント。上位入賞者や参加者には岸和田の特産品などの贈呈を予定。自転車での周遊促進を図る事業。 【めざす成果】 (1)点在する観光地を周遊する手段として自転車を活用する人が増え、面的な意味での観光が実現しているまちを目指す。また、遠方からの参加者受け入れ体制を整えるなどし、長期的な周遊による観光消費額の増加・滞在時間の向上を目指す。 【数値目標】 (1)参加者数:800人(R6実績:556人) 1人あたりの観光消費額:6,000円(R6実績:4,400円)
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在） (1) 実施に向けて調整中	
D：今後の予定 (1) 実施日の確定・内容について事業者と協議	



基本方針	3：受入体制の整備・充実
具体的な手法	①市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①③ 基本方針3-③

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題⑤・⑥に記載のとおり、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけ、観光客に対する受入体制が不足している。講座の開催、産学官の連携、市民への啓発、おもてなし観光、人材育成の推進を行い、事業者に観光振興への協力を求めていくことが必要。	(1) 関西大学連携事業 (2) 関西観光まちづくりコンサルティングに基づく分科会 【事業概要】 (1) 関西大学外国語学部の学生と連携し、市内の観光PR動画を制作。英語のナレーションや多言語の字幕を作成し、外国語での情報発信。また、インスタグラムやTikTokを用いての情報発信予定。 (2) 計画に基づいた今後の本市の事業実施等について、地域の方との意見交換を実施。 【めざす成果】 (1) 大学生との連携により、若年層の観光ニーズを把握することと、大学生目線の新たな観光資源の掘り起こしにより、新たな事業者の観光振興への機運醸成につなげる。 (2) 地域の方からの意見等を集約し、今後の事業展開へ繋げるとともに、この取り組みを継続することで、本市として市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む体制を作る 【数値目標】 (1) インスタグラムフォロワー：1,000人(R7.5.3：545人) TikTok：総いいね数15,000獲得、再生数10万回以上の動画を5本作成、平均再生数3万回 PR動画視聴回数：3,000回
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 撮影スポットの確定・店舗依頼中 (2) 実施日等の調整	
D：今後の予定	
(1) 取材・撮影 (2) 分科会の開催	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	3：受入体制の整備・充実
具体的な手法	②生活にも配慮した観光地としての基盤整備
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針1-国内①②③ 基本方針3-①

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題⑤・⑥に記載のとおり、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけ、観光客に対する受入体制が不足している。観光地としての基盤を整えるため、観光客のニーズに応じたソフト面及びハード面の整備が必要。	(1) 岸和田市民泊施設整備促進事業補助金の継続 (2) 岸和田城リニューアルプロジェクトクラウドファンディングの実施 【事業概要】 (1) 市内の宿泊施設を増やすため、市内で宿泊サービスを提供しようとする事業者に対し施設の整備に活用できる補助制度を継続する。 (2) 岸和田城天守閣耐震対策基本計画に基づき、耐震補強及びバリアフリー化と同時に施設内の展示や内装のリニューアルを行うための財源確保を目的としてクラウドファンディングを実施する。企業版ふるさと納税についても働きかける。 【めざす成果】 (1) 市内の宿泊施設が増えることにより、観光客の滞在時間増・消費額増を目指す。 (2) 財源確保はもちろんであるが、クラウドファンディング実施により、岸和田城の認知度向上を目指す。 【数値目標】 (2) メディア掲載数：2件
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 補助金申請について協議中（1件） (2) 令和7年9月30日までのクラウドファンディングを継続中	
D：今後の予定	
(1) 予算の範囲内で補助金を継続する。 (2) さとふる→ふるさとチョイスに変更を検討	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し



基本方針	3：受入体制の整備・充実
具体的な手法	③歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座
他に該当する基本方針と具体的な手法	基本方針2-①③ 基本方針3-①

A：現状と課題（計画より）	B：今年度の取組み内容（事業概要・ターゲット・めざす成果など）
観光創造ビジョン・岸和田の課題⑤・⑥に記載のとおり、事業者と一体となって観光振興に取り組むための働きかけ、観光客に対する受入体制が不足している。講座の開催、産学官の連携、市民への啓発、おもてなし観光、人材育成の推進が必要。	(1) だんじり講座 (2) まちづくりの館企画提案事業 【事業概要】 (1) 市民向けのだんじりの歴史や文化を学ぶ体験等を実施。 (2) 歴史・文化、まちなみに関する講座等を実施。郷土文化・風習等の知見を深める機会の提供。 【めざす成果】 (1) だんじり会館以外においても、次世代の郷土愛を育むとともに、岸和田市の歴史・文化を発信する。次世代へのだんじり文化を継承する。 (2) 本市で育つこどもたちの郷土愛を育みつつ、本市の歴史文化に触れることで、観光振興に取り組む機運醸成、「人しるべ」の育成につなげる。 【数値目標】 (1) 参加者数：20名
C：取組みの進捗（R 7. 6. 18現在）	
(1) 事業実施に向けて調整中 (2) 火縄銃・岸和田の忍者について講演(4/27実施 参加者数：25名) 第4回 歴史・文化・まちなみ講座(5/17実施 参加者数：12名)	
D：今後の予定	
(1) 実施に向けて調整 (2) 歴史・文化、まちなみに関する講座等(実施日未定)	

■ 総評

■ 課題分析（施策の状況評価等）

■ 次年度以降の改善・見直し

